

2012

- 2) 長澤麻沙子, 高野遼平, 前田健康, 魚島勝美: 卵巣摘出ラットにおける荷重下インプラント周囲骨の組織学的観察. 課題口演賞. 第121回学術大会, 横浜, 2012年5月26日,

歯科矯正学分野

【著書】

- 1) 齋藤 功: 「基礎から臨床を探る」総論. 臨床家のための矯正 YEAR BOOK'12 (伊藤学而 他編), 19頁, クインテッセンス出版, 東京, 2012.
- 2) 竹山雅規, 齋藤 功: 閉塞型睡眠時無呼吸 (OSA) と矯正歯科治療とのかかわり-特に最近の論点について-. 臨床家のための矯正 YEAR BOOK'12 (伊藤学而 他編), 34-36頁, クインテッセンス出版, 東京, 2012.
- 3) 山村健介, 北川純一, 大竹正紀, 高辻華子, 内田喜昭: 食品中のうま味と嚥下誘発の関係. 臨床家のための矯正 YEAR BOOK '12, 1:102-105頁, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2012.
- 4) 朝日藤寿一: 第9回ヨーロッパ顎顔面頭蓋会議に参加して. 臨床家のための矯正 YEAR BOOK'12, 114頁, クインテッセンス出版, 東京, 2012.

【論文】

- 1) Takatsuji H, Zakir H, Mostafeezur R, Saito I, Yamada Y, Yamamura K, Kitagawa J: Induction of the swallowing reflex electrical stimulation of the posterior oropharyngeal region in awake human. *Dysphagia* 27 (4) : 473-480, 2012.
- 2) Yoshii T, Harada F, Saito I, Nozawa-Inoue K, Kawano Y, Maeda T: Immunoeexpression of aquaporin-1 in the rat periodontal ligament during experimental tooth movement. *Biomed Res* 33 (4) : 225-233, 2012.
- 3) Al-Gunaid T, Yamaki M, Saito I: Mesiodistal tooth width and size discrepancies of Yemeni Arabians: A pilot study. *J Orthod Science* 1 (2) : 40-45, 2012.
- 4) Al-Gunaid T, Yamaki M, Takagi R, Saito I: Soft and hard tissue changes after bimaxillary surgery in Japanese Class III asymmetric patients. *Orthod Science* 1 (3) : 69-76, 2012.
- 5) Watanabe N, Fukui T, Saito I: Orthodontic treatment combined with temporary anchorage device for Class II with osteoarthritis of the temporomandibular joint. *Orthodontic Waves* 71 (3) : 99-104, 2012.

- 6) Guevara Y, Watanabe N, Yamaki M, Saito I: The frontal sinus enlargement as an indicator of growth maturity in Class III patients: A pilot study. *Int J Med Sci Public Health* 2 (2) : 430-434, 2013.
- 7) Nihara J, Takeyama M, Takayama Y, Mutoh Y, Saito I: Postoperative changes in mandibular prognathism surgically treated by intraoral vertical ramus osteotomy. *Int J Oral Maxillofac Surg* 42 (1) : 62-70, 2013.
- 8) Togashi M, Kobayashi T, Hasebe D, Funayama A, Mikami T, Saito I, Hayashi T, Saito C: Effects of surgical orthodontic treatment for dentofacial deformities on signs and symptoms of temporomandibular joint. *J Oral Maxillofac Surg Med Path* 25 (1) : 18-23, 2013.
- 9) Ahsan A, Yamaki M, Hossain Z, Saito I: Craniofacial cephalometric analysis of Bangladeshi and Japanese adults with normal occlusion and balanced faces: A comparative study. *J Oral Sci* 2 (1) : 7-15, 2013.
- 10) Mostafeezur R, Zakir H, Takatsuji H, Yamada Y, Yamamura K, Kitagawa J: Cannabinoids facilitate the swallowing reflex elicited by the superior laryngeal nerve stimulation in rats. *PLoS One* 7 (11) : e50703, 2012.
- 11) Kodama Y, Ogose A, Oguri Y, Ubaidus S, Iizuka T, Takagi R: Alveolar Bone Grafting in Association With Polyostotic Fibrous Dysplasia and Bisphosphonate-Induced Abnormal Bone Turnover in a Bilateral Cleft Lip and Palate Patient: A Case Report. *J Oral Maxillofac Surg* 70 (9) : 500-508, 2012.
- 12) 福井忠雄, 篠倉千恵, 齋藤 功: 骨格性下顎前突患者の嚥下時筋活動の時系列的活動様相の検討. *Orthodontic Waves-Jpn Ed* 71 (2) : 104-112, 2012.
- 13) 阿部泰彦, 堀口逸子, 阿部 智, 齋藤 功, 端山智弘, 渡辺勝敏, 赤川安正: 歯科診療に関する患者相談の現状. *日本歯科医師会雑誌* 65 (1) : 37-43, 2012.
- 14) 阿部 智, 堀口逸子, 齋藤 功, 平田幸夫: 歯科医療従事者からの情報提供の受け取り方について. *日本歯科医療管理学会雑誌* 47 (1) : 62-69, 2012.
- 15) 杉山尚道, 森田修一, 三瀬 泰, 齋藤 力, 高木律男, 齋藤 功: 上下顎移動術を施行した骨格性下顎前突症例における術後変化について. *甲北信越矯歯誌* 20 (1) : 25-33, 2012.
- 16) 小原彰浩, 寺田員人, 焼田裕里, 越知佳奈子, 齋藤 力, 齋藤 功: 下顎骨後方移動術前後における口腔

周囲軟組織形態の三次元変化様相の解析～顔面・歯列模型統合三次元データの応用～. 日顎変形誌 22 (3) : 208-215, 2012.

- 17) 五十嵐友樹, 飯田明彦, 小野和宏, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 高木律男: 2段階口蓋形成手術法の軟口蓋形成に Furlow 法を施行した片側性完全唇顎口蓋裂児の永久歯列弓形態. 日口蓋誌 37 (3) : 210-219, 2012.
- 18) 焼田裕里, 寺田員人, 小原彰浩, 越知佳奈子, 高木律男, 齋藤 力, 齋藤 功: 下顎後方移動術後の三次元口腔周囲軟組織形態変化解析における重回帰分析の有効性. 日顎変形誌 22 (4) : 244-254, 2012.
- 19) 高橋功次朗, 丹原 惇, 竹山雅規, 大竹正紀, 永井嘉洋, 吉田留巳, 工藤和子, 焼田裕里, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における混合歯列期矯正患者の治療管理と転帰. 甲北信越矯歯誌 20 (1) : 34-42, 2012.
- 20) 小林正治, 齋藤 力, 飯田順一郎, 井上農夫男, 後藤滋巳, 後藤昌昭, 齋藤 功, 白土雄司, 清水典佳, 須佐美隆史, 高野伸夫, 原田 清, 榎 宏太郎, 森山啓司: 顎変形症診療ガイドライン策定のために収集した patient question の分析. 日顎変形誌 22 (4) : 270-274, 2012.
- 21) 堀口逸子, 阿部泰彦, 齋藤 功, 赤川安正: インプラント患者と歯科医療従事者におけるリスクコミュニケーションに関する Web 調査. 日本口腔インプラント学会雑誌 26 (1) : 37-44, 2013.

【商業誌】

- 1) 高辻華子, 北川純一, 真貝富夫: のど越しの味と嚙下. JOHNS, 29 (1) : 57-60, 2012.

【研究費獲得】

- 1) 齋藤 功, 渡邊直子: 習慣性咀嚼に対する骨リモデリングシミュレーションによる上下顎骨偏位パターンの確立. 平成 22 - 24 年度・科学研究費補助金研究 基盤研究 (C), 22592281, 2012.
- 2) 朝日藤寿一, 児玉泰光, 齋藤 功: 口蓋裂患者における上顎前方移動術の鼻咽腔閉鎖機能予測評価方法の確立. 平成 22 - 24 年度・科学研究費補助金研究報告 基盤研究 (C), 22592281, 2012.
- 3) 越知佳奈子, 齋藤 功, 齋藤 力: 画像認知とオンクトロジーを融合した顎変形症診断支援システムの開発とその臨床応用. 平成 22, 24-25 年度・科学研究費補助金研究報告, 基盤研究 (C), 22592282, 2012.
- 4) 竹山雅規, 八巻正樹, 齋藤 功, 小林正治: 前歯の矯正の後方移動により睡眠時無呼吸症候群のリスクは増加するか?. 平成 24 年度新潟大学臨床研究サ

ポート事業, 2012.

- 5) 渡邊直子, 林 孝文, 齋藤 功: 有限要素法と骨リモデリングシミュレーションによる効果的顎変形症治療システムの開発. 平成 24 - 26 年度・科学研究費補助金研究 基盤研究 (C), 24593086, 2012.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Saito I: Morphological and functional changes after surgical orthodontic treatment. 8th Asian Pacific Orthodontic Conference and 47th Indian Orthodontic Conference, New Delhi, 2012.11.29-12.2, abstract book: 37, 2012.
- 2) 齋藤 功: 外科的矯正治療の実践-形態的調和と機能変化について-. 第 53 回北海道矯正歯科学会学術大会, 札幌, 2012 年 6 月 17 日, 北海道矯歯誌 40 (1) : 24 頁, 2012.
- 3) 齋藤 功, 後藤多津子 (コーディネーター): シンポジウム I・新しい 3 次元分析/シミュレーション/ナビゲーション. 第 22 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 福岡, 2012 年 6 月 18 日, 日顎変形誌 22 (2) : 51 頁, 2012.
- 4) 齋藤 功: 第一期治療の意義について考える-第二期治療との関わりの中で-. 第 71 回日本矯正歯科学会大会サテライトセミナー, 盛岡, 2012 年 9 月 27 日, 抄録集: 100 頁, 2012.
- 5) 齋藤 功, 五十嵐一吉 (コーディネーター): シンポジウム 1 「これからの矯正歯科医療を考える」. 第 71 回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012 年 9 月 27 日, 抄録集: 83-85 頁, 2012.
- 6) 吉田留巳, 佐山光子, 朝日藤寿一, 齋藤 功: 口唇裂口蓋裂児の第 I 期矯正歯科治療終了時期における母親の心情とその構造 (優秀論文賞受賞講演). 第 36 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 京都, 2012 年 5 月 24-25 日, 口蓋誌 37 (2) : 34 頁, 2012.
- 7) 朝日藤寿一, 竹山雅規, 吉田留巳, 工藤和子, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科における歯科矯正治療スケジュールについて. 第 36 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 京都, 2012 年 5 月 24-25 日, 口蓋誌 37 (2) : 88 頁, 2012.

【学会発表】

- 1) Kohara A, Terada K, Yakita Y, Nishino K, Saito I: Three-dimensional changes in perioral soft tissue following hard tissue alteration by orthognathic surgery. 88th EOS Congress, Santiago, 2012.6.18-23, abstract book, 266, 2012.
- 2) Yakita Y, Terada K, Kohara A, Ochi K, Saito I: Perioral soft tissue changes following hard tissue

- alteration in Class III patients with mandibular deviation. 88th EOS Congress, Santiago, 2012.6.18-23, abstract book, 95, 2012.
- 3) Sasakura C, Fukui T, Saito I: Changes in the time aspect of orofacial muscle activities during deglutition in mandibular prognathism. 88th EOS Congress, Santiago, 2012.6.18-23, abstract book, 163, 2012.
 - 4) Asahito T, Yoshida R, Sayama M, Saito I: Maternal psychological conditions and structures in mothers with cleft lip and palate children. 88th EOS Congress, Santiago, 2012.6.18-23, abstract book, 182, 2012.
 - 5) Terada K, Sano N, Terashima Y, Kohara A, Saito I: Three-dimensional facial surface images during smiling after orthognathic surgery. 88th EOS Congress, Santiago, 2012.6.18-23, abstract book, 161, 2012.
 - 6) Watanabe N, Saito I: Stress distribution analysis in a skull with skeletal deviated occlusion. 60th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, Niigata, 2012.12.14-15, JADR abstract book, 82, 2012.
 - 7) 竹山雅規, 吉田留巳, 小野和宏, 中川麻里, 丹原 淳, 朝日藤寿一, 齋藤 力, 高木律男, 齋藤 功: 唇顎口蓋裂術後の矯正治療に関する臨床統計的調査 (第2報). 第36回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 京都, 2012年5月24-25日, 口蓋誌 37 (2) : 151頁, 2012.
 - 8) 五十嵐友樹, 飯田明彦, 小林孝憲, 小山貴寛, 朝日藤寿一, 小野和宏, 齋藤 功, 高木律男: 二段階口蓋形成手術法における硬口蓋裂の大きさがその後の顎発育へ及ぼす影響について. 第36回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 京都, 2012年5月24-25日, 口蓋誌 37 (2) : 152頁, 2012.
 - 9) 朝日藤寿一, 小野和宏, 竹山雅規, 松山順子, 八木稔, 泉 直也, 小山貴寛, 池 真樹子, 石沢尚子, かづきれいこ, 小林正治, 寺田員人, 齋藤 力, 高木律男, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院 (歯科) における口蓋裂診療班の活動について. 第36回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 京都, 2012年5月24-25日, 口蓋誌 37 (2) : 176頁, 2012.
 - 10) 飯田明彦, 高木律男, 朝日藤寿一, 中川麻里, 齋藤 功: 長岡赤十字病院における口唇裂・口蓋裂治療. 第36回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 京都, 2012年5月24-25日, 口蓋誌 37 (2) : 176頁, 2012.
 - 11) 朝日藤寿一, 長津聡子, 山田好秋, 齋藤 功, 山村健介: 表情筋トレーニングの効果に関する定量的評価について. 第27回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2012年6月10日, 抄録集: 27頁, 2012.
 - 12) 渡邊直子, 吉田留巳, 小野由紀子, 小林正治, 齋藤 力, 齋藤 功: 基底細胞母斑症候群の一例. 第27回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2012年6月10日, 抄録集: 31頁, 2012.
 - 13) 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功: 非抜歯により治療した成長期アングルII級上顎前突症例. 第27回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2012年6月10日, 抄録集: 38頁, 2012.
 - 14) 吉田留巳, 渡邊直子, 齋藤 功: 上顎片側犬歯の埋伏を伴うアングルII級叢生症例. 第27回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2012年6月10日, 抄録集: 39頁, 2012.
 - 15) 小原彰浩, 朝日藤寿一, 齋藤 功: 下顎の軽度偏位を伴ったアングルII級叢生症例. 第27回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2012年6月10日, 抄録集: 40頁, 2012.
 - 16) 小栗由充, 池田順行, 齋藤 功: 矯正用インプラントアンカー (仮称) を併用して治療を行った叢生を伴う上顎前突症例. 第27回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2012年6月10日, 抄録集: 43頁, 2012.
 - 17) 竹山雅規: 下顎右側側切歯, 犬歯の癒合を伴う成人上顎前突症例. 第27回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2012年6月10日, 抄録集: 44頁, 2012.
 - 18) 中川麻里, 森田修一, 齋藤 功: 下顎骨の軽度左方偏位を伴うアングルIII級叢生症例. 第27回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2012年6月10日, 抄録集: 45頁, 2012.
 - 19) 丹原 淳, 竹山雅規, 高山裕司, 武藤祐一, 齋藤 功: 下顎枝垂直骨切り術施行後におけるcenter of adaptive rotationの分布. 第22回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 福岡, 2012年6月18-19日, 日顎変形誌 22 (2) : 171頁, 2012.
 - 20) 福井忠雄, 篠倉千恵, 西野和臣, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症例における外科的矯正治療前後の嚙下時顔面関連筋の活動様相変化. 第22回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 福岡, 2012年6月18-19日, 日顎変形誌 22 (2) : 168頁, 2012.
 - 21) 小林正治, 齋藤 力, 飯田順一郎, 井上農夫男, 後藤滋巳, 後藤昌昭, 齋藤 功, 白土雄司, 清水典佳, 須佐美隆史, 高野伸夫, 原田 清, 槇宏太郎, 森山啓司: 顎変形症診療ガイドライン策定におけるPatient Questionの収集と分析結果. 第22回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 福岡, 2012年6月18-19日, 日顎変形誌 22 (2) : 149頁, 2012.
 - 22) 小玉直樹, 福田純一, 永田昌毅, 児玉泰光, 竹山雅規, 齋藤 功, 高木律男: 口蓋裂に伴う上顎狭窄と術後管理不良のため複数回の手術を要した顎変形症

- の1例. 第22回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 福岡, 2012年6月18-19日, 日顎変形誌 22(2): 111頁, 2012.
- 23) 毛利 環, 渡辺 厚, 渡邊洋平, 齋藤 功, 宮崎秀夫: 11-14歳日本人学童が感じている矯正治療の主観的必要性について-歯科医による客観的なIOTN (Index of Orthodontic Treatment Need) との関連. 第71回東京矯正歯科学会大会, 東京, 2012年7月12日, 抄録集 22(2): 131頁, 2012.
- 24) Ahsan SM, Yamaki M, Hossain MZ, Saito I: Craniofacial structure of Bangladeshi adults with normal occlusion and sell-balanced faces: A comparative study. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 296頁, 2012.
- 25) Valverde YG, Watanabe N, Yoshida R, Saito I: Temporary anchorage device treatment in a high angle skeletal Class II with severe crowding. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 304頁, 2012.
- 26) 永井嘉洋, 佐藤知弥子, 高橋功次朗, 丹原 惇, 八巻正樹, 齋藤 功: CT画像を用いた上顎中切歯の歯根吸収と切歯孔形態の臨床評価. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 127頁, 2012.
- 27) 越知佳奈子, 山添清文, 小原彰浩, 焼田裕里, 森田修一, 齋藤 功: 認識工学的的手法を用いた歯槽部形態の評価. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 128頁, 2012.
- 28) 吉居朋子, 齋藤 功, 前田健康, 原田史子, 河野芳朗: 実験的歯の移動時におけるラット臼歯歯根膜のアクアポリン-1免疫発現. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 159頁, 2012.
- 29) 大竹正紀, 高橋功次朗, 永井嘉洋, 丹原 惇, 竹山雅規, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における混合歯列期矯正患者の管理と転帰 第1報 上顎前突群について. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 199頁, 2012.
- 30) 坂上 馨, 高橋功次朗, 永井嘉洋, 丹原 惇, 竹山雅規, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における混合歯列期矯正患者の管理と転帰 第2報 下顎前突群について. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 200頁, 2012.
- 31) 西野和臣, 高橋功次朗, 永井嘉洋, 丹原 惇, 竹山雅規, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における混合歯列期矯正患者の管理と転帰 第3報 叢生群について. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 200頁, 2012.
- 32) 大倉麻里子, 佐藤知弥子, 眞館幸平, 高橋功次朗, 永井嘉洋, 丹原 惇, 竹山雅規, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における混合歯列期矯正患者の管理と転帰 第2報 下顎前突群について. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 201頁, 2012.
- 33) 小原彰浩, 寺田員人, 西野和臣, 焼田裕里, 越知佳奈子, 齋藤 功, 谷尻豊寿, 齋藤 功: CBCT頭蓋顔面硬・軟組織三次元データと歯列模型三次元データ統合モデルの開発. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 224頁, 2012.
- 34) 中川麻里, 森田修一, 越知佳奈子, 金山 潔, 八巻正樹, 齋藤 功: 矯正治療終了後における咬合状態の長期的変化(第三報) - 下顎犬歯の長期的変化について -. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 233頁, 2012.
- 35) 工藤和子, 高木律男, 児玉泰光, 朝日藤寿一, 齋藤功: 上顎前頭移動術による咽頭周囲軟組織の形態変化が口蓋裂患者の言語機能に及ぼす影響. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 239頁, 2012.
- 36) 竹山雅規, 八巻正樹, 丹原 惇, 坂上 馨, 西野和臣, 小林正治, 齋藤 功: 成人抜歯症例における治療前後の咽頭気道形態および舌骨の位置変化. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 249頁, 2012.
- 37) 吉田留巳, 福井忠雄, 八巻正樹, 齋藤 功: 矯正用インプラントアンカー(仮称)を併用して咬合を確立させた特殊な症例. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 257頁, 2012.
- 38) 小栗由充, 池田順行, 山田瑛子, 齋藤 功: 歯の移植と矯正治療により歯列回復をはかった石灰化嚢胞性歯原性腫瘍の1例. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 285頁, 2012.
- 39) 内田喜昭, 大竹正紀, 河合美佐子, 高辻華子, 寺田員人, 山村健介: 味刺激がヒト嚙下反射に及ぼす影響. 第71回日本矯正歯科学会大会, 盛岡, 2012年9月26-28日, 抄録集: 147頁, 2012.
- 40) 工藤和子, 児玉泰光, 朝日藤寿一, 小野和宏, 齋藤功, 高木律男, 齋藤 功: 上顎前方移動術による咽頭周囲軟組織の形態変化が口蓋裂患者の言語機能に及ぼす影響. 第22回日本歯科医学学会総会, 大阪, 2012年11月9-11日, 抄録集: 149頁, 2012.
- 41) 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功: 筋電図を用いた骨格性下顎前突症における外科的矯正治療後の嚙下関

連筋群の変化. 第22回日本歯科医学会総会, 大阪, 2012年11月9-11日, 抄録集: 149頁, 2012.

- 42) 高辻華子, 北川純一, 山田好秋, 山村健介: カンナビノイドによる嚙下誘発の促進効果. 日本生理学会, 東京, 2013年3月27-29日, 2013.
- 43) 小山貴寛, 芳澤亨子, 小野和宏, 森田修一, 阿部裕子, 齋藤 功, 齊藤 力, 高木律男: 永久歯の歯胚回転を行い萌出方向の改善を行った3症例. 第57回日本口腔外科学会, 横浜, 2012年10月19-21日, 抄録集: 289頁 2012.
- 44) Valverde YG, Yoshikawa H, Saito I, Maeda T, Seo K.: Effects of antibody to BDNF on nerve regeneration following transection of the Inferior Alveolar nerve. 42nd annual meeting Society for neurosciences 2012, New Orleans, 2012.10.13-17, 2012.

【研究会発表】

- 1) 高辻華子, 北川純一, Mostafaezur R, 山田好秋, 山村健介, 齋藤 功: 内因性カンナビノイド分解酵素阻害剤を利用した嚙下誘発の促進. 三叉神経領域の感覚-統合運動機能研究会, 東京, 2012年7月7-11日, 2012.
- 2) 内田喜昭, 大竹正紀, 河合美佐子, 畝山寿之, 高辻華子, Mostafaezur R, Zakir H, 寺田員人, 北川純一, 山田好秋, 山村健介: うま味の嚙下反射への寄与. 三叉神経領域の感覚-統合運動機能研究会, 東京, 2012年7月7-8日, 2012.
- 3) 北川純一, 高辻華子, 山田好秋, 山村健介: 咽頭領域への電気刺激により誘発されるヒト嚙下反射特性. 三叉神経領域の感覚-統合運動機能研究会, 東京, 2012年7月7-8日, 2012.
- 3) 森田修一, 三瀬 泰: 上突咬合・下後退顎症例における手術後の適応. 第34回与五沢矯正研究会, 新潟, 2012年4月16-17日, 2012.
- 4) 竹山雅規: 上顎臼歯部にインプラントアンカーを埋入した2症例. 第34回与五沢矯正研究会, 新潟, 2012年4月16-17日, 2012.

【受賞】

- 1) 福井忠雄, 篠倉千恵, 西野和臣, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症例における外科的矯正治療前後の嚙下時顔面関連筋の活動様相変化. 第22回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会 ポスター賞, 2012年6月18-19日.
- 2) 相川 弦, 小林正治, 齋藤 功, 林 孝文, 齊藤 力: 顎変形症患者の顎関節症状と顎顔面形態との関連. 平成24年度・日本口腔外科学会学術奨励賞, 日口外

誌 57 (8) : 441-451, 2012.

【その他】

- 1) 齋藤 功: 矯正歯科治療とはどのようなものか? - 学童期の患者さんに対する治療・管理を中心に -, ゆきぐに大和病院・学術講演会, 南魚沼, 2012年8月30日.
- 2) 吉田留巳, 佐山光子, 朝日藤寿一, 齋藤 功: 口唇裂口蓋裂児の第I期矯正歯科治療終了時期における母親の心情とその構造 (学位研究紹介). 新潟歯学会雑誌, 42 (1) : 55-56, 2012.
- 3) 齋藤 功, 朝日藤寿一, 須佐美隆史, 他: 5 year old index 講習会. 日本口蓋裂学会 Japan cleft 委員会, 東京, 2012年7月18日.
- 4) 福井忠雄: 共通課題症例コーディネーター. 日本歯科大学新潟生命歯学部, 松本歯科大学, 新潟大学, 3大学交流セミナー, 新潟, 2012年6月9日.

小児歯科学分野

【著 書】

齋藤一誠: 小児期における顎口腔機能の発達過程を探索する. 小児歯科学雑誌. 50 (1) ; 15-21, 2012. 総説

【論 文】

- 1) Iwasaki T, Saitoh I, Takemoto Y, Inada E, Kanomi R, Hayasaki H, Yamasaki Y: Improvement of nasal airway ventilation after rapid maxillary expansion evaluated with computational fluid dynamics. American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics, 141 (3) : 269-278, 2012.
- 2) Inada E, Saitoh I, Hayasaki H, Iwase Y, Kubota N, Fukami A, Yamasaki Y: Comparison of Normal Permanent and Primary Dentition Sagittal Tooth-Crown Inclinations of Japanese Females. Journal of Craniomandibular Practice, 30 (1) : 41-51, 2012.
- 3) Sato M, Akasaka E, Saitoh I, Ohtsuka M, Nakamura S, Sakurai T, Watanabe S: A simplified protocol for the semi-large scale recovery of plasmids from Escherichia coli grown on agar plates. Journal of Biomedical Science and Engineering (JBiSE), 5 (7) : 406-408, 2012.
- 4) Inada E, Saitoh I, Nakakura-Ohshima K, Maruyama T, Iwasaki T, Murakami D, Tanaka M, Hayasaki H, Yamasaki Y: Association between mouth opening and upper body movement with intake of different-size food pieces during eating. Archives of Oral Biology, 57 (3) ; 307-313, 2012.
- 6) Sato M, Akasaka E, Saitoh I, Ohtsuka M,